

夏のイベント★参加者募集!!

中央図書館

1. おはなしの庭【ストーリーテリング（すばなし）】

日時：7月23日（水）10:30～11:00

場所：中央図書館 2階 おはなしのへや

対象：5歳くらいから小学生

定員：20名程度（先着順） 費用：無料 申込：不要

2. でかぞうクラブ【万華鏡作りとおはなし会】

日時：7月30日（水）10:00～11:30

場所：中央図書館 4階 視聴覚室

対象：小学1～4年生 定員15名（先着順） 費用：無料

申込：7月17日（木）9:30～ 中央図書館 2階 児童書フロアへ

※電話申し込みは10:30～中央図書館へ

3. でかぞうクラブ【読書感想文おたすけブックトーク】

日時：8月6日（水）10:00～11:30

場所：中央図書館 4階 視聴覚室

対象：小学3～4年生 定員15名（先着順） 費用：無料

申込：7月23日（水）9:30～ 中央図書館へ（電話可）

狭山台図書館

1. ビブリオバトル

日時：7月27日（日）・8月24日（日）15:00～16:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生～大人 費用：無料 申込：不要 持ち物：おすすめの本1冊

2. 小学生一日図書館員

日時：7月30日（水）10:00～12:00

場所：狭山台図書館

対象：小学4～6年生 定員3名（先着順） 費用：無料

申込：7月21日（月）9:30～ 狭山台図書館へ（電話可）

3. でかぞうクラブ【ペットボトルスノードーム作りとおはなし会】

日時：8月23日（土）14:00～15:30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生 定員8名（先着順） 費用：無料

申込：7月19日（土）9:30～ 狭山台図書館へ（電話可）

4. わくわくサイエンス【偏光板でステンドグラスの実験】

日時：8月30日（土）①13:00～14:30 ②15:00～16:30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：①小学1～2年生（要保護者同伴） ②小学3～6年生

定員：各回8名（先着順） 費用：530円

申込：8月15日（金）9:30～ 費用を持って狭山台図書館窓口へ



よむぞうタイムズ 90号

3年生 4年生

狭山市立図書館 2025.7.15 発行

今きみたちが見ている世界は、いろんな場所や時代、
たくさんの物や人とつながっている。

ほんとうかな？と思ったら、こんな本を読んでみて！

きみのえらんだ本は「何とつながる」かな？



『ちきゅうのかいだん』（EK 7） 松岡 たつひで／作・絵 金の星社



目の前にあったふしぎなドア。開けてみたら、長い階段がつづいていた。この階段は「ちきゅうのかいだん」。おりていくと、どんどん昔になっていく。恐竜がさかえた時代があった。とても大きな虫たちもいた。もっと昔の地球には、どんな生き物がいたのかな？階段はまだまだつづくよ。

『オレはどうくつ探検家』（J454 3）

吉田 勝次／著 ポプラ社

地球にあいた穴「どうくつ」。中はどうなっているのかな？しっかり装備を整えたら、どうくつ探検に出発だ！せまい入口は、人が入るのをこばんでいる。キケンもいっぱい。でも、うまくいけば地球が何億年もかけてつくった芸術作品にであえるかもしれないよ。



図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。イベント、開館時間、休館日等の最新情報はこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



『カメレオンのレオン』(JPオ)

つぎつぎとへんなこと

岡田 淳／作 偕成社



事件は小学校から始まった。校長先生がふたりになったり、校庭の草が巨大化したり。次々とおこるふしぎなできごとを解決しに、探偵レオンがやってきた。

どうやら小学校のどこかに、べつの世界とつながる通路があるらしい!?

続きの『小学校の秘密の通路』『ないしょの五日間』(JPオ) も読んでみてね。

『中国のフェアリー・テール』(JSハ)

ローレンス・ハウスマン／作 松岡 享子／訳
福音館書店



ティキ・プーは有名な画家の画塾で下働きをしていた。心のそこから絵がすきだったが、描くことはゆるされなかった。ひとりになると300年前に描かれた庭園の絵をながめ、その絵の中に入ってしまったという画家に絵を教わりたいと願っていた。するとある夜、絵の中にある宮殿の扉が開いたではないか!! 美しいものにあこがれつづけた、ひとりの少年の物語。

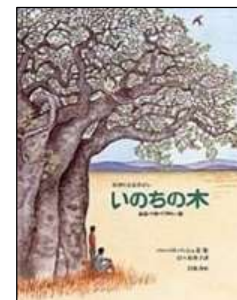
『いのちの木』(EKバ)

あるバオバブの一生

バーバラ・バッシュ／文／絵 百々 佑利子／訳
岩波書店



おもしろい形をしているバオバブの木。この木はとても長生きで、樹齢千年をこえる老大木になる。人びとはその1本1本に特別な名前をつけて大切にしている。雨季が来ると、いっせいに葉を茂らせてたくさんの生きもののすみかになる。虫や鳥が巣を作り、動物たちが集まってくる。ときには人間もこの木に暮らしを助けてもらう。バオバブの木が、命をつなぐ。



『山に木を植えました』(J519ス)

スギヤマ カナヨ／作 畠山 重篤／監修 講談社

おいしい魚が育つには、植物がたいせつだって知っている? 海の中だけではなく、遠くはなれた山に育った木々がとてもだいじなんだ。豊かな森で生き物たちに作られた土は、たっぷりと栄養のある水をたくわえる。その水がわき出して集まり、川となって海へと流れる。そして、それぞれの場所で生き物から生き物へとバトンが渡されていく。



『盆まねき』(JPト)

富安 陽子／作 高橋 和枝／絵 偕成社



なっちゃんが、フミおばちゃんから聞いたお月さまの話。子どもころ、十五夜のお月さまに向かってつづく銀色の光の道をのぼったんだって。坂道のてっぺんには大きな穴が開いていて、中をのぞいたんだって。

いつものホラ話って思っていたけど、盆踊りの夜になっちゃんも光の道を見つけちゃった。この道はどこにつづくのかな?

『ジュマンジ』(EEオ)

クリス・バン・オールスバーグ／さく
へんみ まさなお／やく ほるぷ出版

ジュディとピーターは、公園で細長い箱を拾ってきた。開けてみると、どこにでもあるようなボードゲーム。サイコロをふって出た目の数だけ進む。なんてことのない遊びのはずが、マスに書かれたことが現実になって目の前に現れた!



箱に書かれたタイトルは「ジュマンジ ジャングル探検ゲーム」。部屋の中がまさかのジャングルになっちゃった! いったいどうなる?

